



江戸の殉教者

「日々の暮らしから東へ③」

フランシスコ・サビエル 人宣教師も殉教したり、
 によって日本に伝えられた 追放された。いつも疑問に
 キリスト教は、宣教され 思うことは、短期間にど
 たのは江戸では50年にも うしてそのような強い信
 満たず、この間に2千人 仰を日本人が持ったかとい
 が殉教した。関白秀吉に うこと。今回、都内の殉
 よって発布されたキリスト 教の地を訪れ、改めて思っ
 教禁止令は、徳川家康に た。

よってさらに強化され、1 都内各地の殉教地の中
 601年以降、江戸の教 最も有名なものは162
 会の迫害が本格化。3代 3年(元和9年)に芝口
 将軍家光によって鎖国へと 札の辻で起こった「元和の
 発展する。 殉教」である。

多くのキリシタンが信 中心人物の原主水をは
 仰のために殺され、外国 じめ50人が火刑にされた。



元和の殉教事件を描いたもの

殉教した 中心人物の原
 主水の額に は、以前に捕
 えられた時に 押された、十
 字架の焼き印 があつたとい
 う。

なお、原主 水は5年前に
 江戸時代の1 88人の殉教
 者の1人とし て列福され、

長崎市で開かれた列福の式 典には私も参加しただけ
 に、その昔の事件には思え
 ない。

改めて思ったことは「信 仰とは何か」ということ
 だ。自分の命よりも大切 なものだとして殉教する
 …その信仰と同じものを 自分が信仰していることに
 何か考えさせられる。

遠藤周作の「沈黙」を 今回想れ
 たが、そら拷問に堪えられず、最
 こは人衆 初に「転ぶ」という思い
 のみせし があるだけに、殉教の意
 めになる 味を考えさせられる。

よう、小 以前、ある神父にこの
 高い丘の 話をしたら「自分にもそ
 上だった、 の時どうなるかは断言出
 今は色鮮 来ない。その時に与えられ
 やかなど るのが「神の恵み」と思う」
 桜が植え と言われた。

られてい それに納得したわけで
 る。鮮や はないが、いくら考えても
 かなど桜 自分には結論が出ず、最

の色が、 近は殉教について考えるよ
 殉教者の り、今、自分が神をどの
 血を連想 ように受け止めるかを考
 させる。 える。米年の年賀状にも
 たのである。

札の辻の-high台に咲く芝桜



「神の子」として前向きに 信仰を生きたいと書いた。
 殉教について堂々巡りを しているのは自分にもよく
 わかるが「江戸の殉教」は、 山口から遠く離れた遠い
 過去の問題ではなく、こ れとよく似た事件は明治
 に入り、自分の身近かに 起こった。

隣の島根県津和野で の事件だ。過去の江戸時
 代の信仰の光が、1人の 神父も存在しない中で、
 長崎の浦上の地を中心に 「カクレキリシタン」たち
 によって守られていた。

しかし徳川時代の鎖国 政策が改められ、新しい
 外国人宣教師の来日認め られるようになってしま
 だ、キリスト教禁止令は 続き、その存在がわかった
 浦上のカクレキリシタンた ちは津和野に流刑になっ
 た。

このことは近く目を改め て書きたい。江戸で殉教 は終わってしまったわけではなかつ たのである。